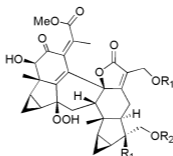
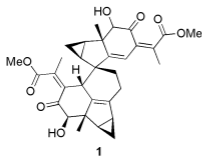


28G-pm06

雲南省産伝統薬物に関する研究 (12) - *Chloranthus spicatus* の成分について (6) -
○金 尚永¹, 柏田 良樹¹, 川添 和義², 村上 光太郎³, 李 順林⁴, 孫 漢董⁴,
高石 喜久¹ (¹徳島大薬, ²徳島大病院薬, ³崇城大薬, ⁴中国科学院昆明植物研)

【目的】当研究室では新しい治療薬開発・創製を目的とし、雲南省産伝統薬物の成分研究を行なっている。演者らは、中国少数民族タイ族が高血圧の治療薬として用いている *Chloranthus spicatus* (センリョウ科) について成分研究を行い、その含有成分について報告している。今回さらに検討を行った結果 3 種の新規化合物を単離・構造決定したので報告する。

【方法・結果】 2007 年千葉県で栽培された *C. spicatus* の根を粉碎後 Et₂O で冷浸抽出した。得られた Et₂O エキスを各種クロマトグラフィーにより分離・精製し、3 種(1-3)の新規化合物をを単離した。これらの構造は各種スペクトルデータの詳細な解析により決定した。また、化合物 2, 3 については ROESY 及び CD スペクトルの解析により絶対立体配置を含め図に示す構造と決定した。化合物 1 は lindenane 型 sesquiterpene が C-15-C-15', C-4-C-6' で spiro 型に結合した *Chloranthus* 属植物における新しい結合様式の sesquiterpene dimer である。



	R ₁	R ₂	R ₃
2	OH	Ac	Tig*
3	H	H	Ac

*tigloyl group